

# 2016 年度事業報告書

特定非営利活動法人 ファミリーコミュニケーション・ラボ

## I 事業期間

2016 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日

## II 事業の成果

2016 年度も不登校児童生徒を持つ母親の支援を順調に実施することができました。昨年度からの変化として

- ・学習会の会場が 2 拠点増えたこと。
- ・父親に向けたリーフレットを新たに追加したこと。
- ・学習会だけではなく気楽に参加できるお茶会を始めたこと。
- ・他団体との協力で、不登校だけではなく発達障害に関しての知識を提供できたこと。

などを通じて、

- ・母親の子ども理解、不登校理解を深め、状態受容までを円滑に進めること。
- ・その事により、父親も不登校を肯定的にとらえ、夫婦間の関係を肯定的にする事。
- ・また、こうした関係性の変容と同時に、親たちは自らの生き方を振り返り、新たな自立の道を模索し「自己変容」を促す機能を果たしている。

## III 事業の実施状況

(1) (事業名) 各支部傾聴サークル と ランチ会・お茶会

(内 容) 傾聴サークルでは 不登校児童生徒を持つ母親を対象に、子どもへの接し方の基本として傾聴をトレーニングします。ランチ会は、相談先や医療機関、進学先などの情報交換の場の役割を果たします。各支部の申し込みは、毎回、参加受付後数日で定員となり、会場の増設の必要を感じています。又 東京には東北から。大阪へは中国、四国地方からの参加もあり、地方開催の必要性も感じています。

(実施場所) 大阪市天王寺区民センターをはじめとする各支部の最寄り施設の会議室。

(実施日時) 各支部とも 2 か月に 1 度

(事業の対象者) 不登校児童生徒を持つ母親

(収 入) ¥635,300

(支 出) ¥449,504

(2) (事業名) 各支部の参加者が共に学び、親睦を深め、且つ、親だけでなく教育関係者にも不登校に関する知識を提供し、社会変革にもつながる事業

(内 容) 通常、掲示板で親睦を深めている仲間が、地方在住者も含め、集い、また、親だけではなく教育関係者にも参加の枠を広げ不登校に関する学びを深める事業。日頃、家にいる子どもの相手をして、家から出ることが難しい母親の背中を少し押し、子離れと母親の自立、ストレスコントロールを目的とした事業でもある。

(実施場所) 東京ボランティア市民活動センター 他 岡山会場、大阪会場でも実施

(実施日時 2016年5月8日 10:00~15:30  
2016年6月4日 13:30~16:00  
2016年11月26日 13:30~16:30

(事業の対象者) 不登校児童生徒を持つ親、教育関係者

(収 入) ¥372,500

(支 出) ¥266,933

#### IV 社員総会の開催状況

##### 第1回通常総会

(日 時) 2016年2月3日 10時から15時  
(場 所) シェラトン都ホテル  
(社員総数) 22名  
(出席者数) 22 (うち委任状出席者12名、書面表決者0名)  
(内 容)

#### V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会の開催実績はありません。